

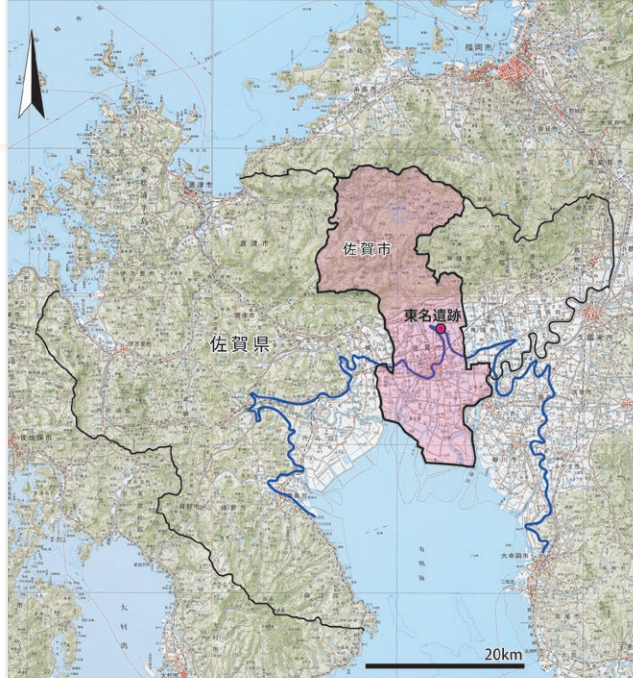
東名遺跡とは

東名遺跡は佐賀市^{さきりゅう}金立町に所在する縄文時代早期の遺跡で、平成5年以降、2度にわたる発掘調査が行われ、今から8,000年前の居住地・墓地・貝塚・貯蔵施設がセットで確認されました。

当時の生活様式や文化を知る上で大変貴重な資料であると同時に、日本の縄文文化を研究する上で欠くことのできない遺跡です。特に、5mの粘土層でパックされた湿地性貝塚からは、700点以上の編みかごをはじめ、縄文人たちの知恵や技術力の高さがうかがえる国内最古級の資料が大量に発見されました。

東名遺跡の位置▶

(青線は縄文海進最盛期の海岸線)



保存と国史跡指定

発掘調査は、洪水対策用の巨勢川調整池建設(55ha)に伴い実施しました。平成5～8年には居住域の調査(1次調査)、平成16～19年には貝塚部の調査(2次調査)を行いました。

2次調査で発見された6つの貝塚のうち、第1・2貝塚については発掘調査(記録保存)を行い、第3～6貝塚については、遺跡の重要性から特殊な工法で盛土をし、現地に保存しました。平成28年10月に東名遺跡の重要性が認められ、保存地区が国史跡に指定されました。

発掘調査と保存対策工事▶

(手前は発掘調査、奥側は保存対策工事)



よみがえる縄文人の暮らし

東名遺跡は保存条件に恵まれ、多種多様なものが大変良く残されていました。そのため普通の遺跡に比べると、当時の生活様式や文化をより鮮明に、より具体的に知ることができます。

▼東名縄文人の暮らしの様子(画:早川和子)



日本最古、最大級の湿地性貝塚

植物性遺物が残りやすい「湿地」と動物性遺物が残りやすい「貝塚」の双方を兼ね備えた遺跡を「湿地性貝塚」と言いますが、東名遺跡は国内の湿地性貝塚の中で最も古く、日本文化の起源を知る上で大変貴重な遺跡です。

また、6ヵ所確認された地点貝塚は、南北500m以上と広域に及ぶ、縄文時代早期段階（約8000年前）としては国内最大級の貝塚群です。

さらに、水場を含めた湿地の初現的な利用状況や植物質素材の利用方法及び加工技術を知る上で貴重な資料であり、155基確認された湿地型貯蔵穴は国内最古例です。



巨勢川調整池全景（保存地区）

日本最古級の豊富な出土遺物

出土した豊富な動植物性遺物は、当時の食生活や生業活動の復元を可能とし、さらに様々なものづくりの実態を明らかにすることができました。中でも骨角製及び貝製装身具が大量に出土していることは特筆すべきで、縄文時代早期段階でこれだけ多種多様な装身具が出土した例はなく、精神文化のいち早い萌芽を示すものです。

また、700点以上が確認された国内最古級の編みかごについては、全形が残存しているものも多く、製作技法に止まらず、その用途にまで言及できる画期的な資料です。



編みかご（左：出土品 右：復元品 高80cm）



アクセサリー（上：貝製 下：骨角製）

縄文時代観を書き替える遺跡

縄文遺跡は質・量ともに東日本が中心で、学術的な評価も東高西低の感があります。その中で、縄文時代早期段階の九州において、すでに本格的な貝塚を形成し、貯蔵穴や墓地も伴い、多種の装身具等から見て取れる高い文化をもつ遺跡が発見されたことは特筆すべきことです。

東名遺跡の調査成果は、縄文文化形成史の再考を促すものであり、西日本に限らず、日本を代表する縄文遺跡として重要な位置を占めます。



人面状木製品と水辺でのまつり（画：早川和子）



第2貝塚全景



貯蔵穴（編みかご）

東名遺跡の活用事業



出前授業（市立小学校）



貝輪づくり（子ども向け）



編みかごづくり（一般向け）



各班に準備する出前授業キット

東名遺跡から出土した遺物を利用した様々な活用事業を実施しています。実際の出土遺物を教室に持ち込むことで縄文時代がリアルに体感できる「出前授業」（小学6年生対象）をはじめ、遺跡から見つかっている貝輪（腕輪）をモデルに、現生の貝を使って製作する「貝輪づくり」、国内最多の出土量を誇る編みかごをモデルに、クラフトテープを使って製作する「編みかごづくり」などを行っています。

東名縄文館のご案内



東名縄文館の展示状況

東名遺跡に隣接して、遺跡のガイダンス展示コーナーを開設しています。巨勢川調整池管理棟の一室に開設したもので、出土遺物やパネル展示で、遺跡の特徴を解説しています。

中でも第2貝塚の貝層剥ぎ取りは迫力があり必見です。また遺跡にも近く、東名遺跡をより身近に感じていただくことができますと思います。

【開館】火曜～日曜日・祝日 10:00～16:00

【休館】月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）
年末年始（12/29～1/3）

【場所】佐賀市金立町千布（巨勢川調整池内）

アクセス

東名遺跡及び東名縄文館は巨勢川調整池敷地内にあります。
（佐賀市金立町大字千布）

- ◎JR 佐賀駅より車で約15分
- ◎佐賀大和ICより車で約15分
- ◎佐賀国際空港より車で約40分

佐賀市地域振興部 文化財課

〒840-0811
佐賀県佐賀市大財三丁目11-21
TEL 0952-40-7109
FAX 0952-26-7378
E-mail bunkazai@city.saga.lg.jp



- ◎佐賀市営バス（二俣・金立公園線）「二俣」停留所→徒歩約20分
- ◎佐賀市営バス（兵庫・久保泉工業団地線）「瀬頭」停留所→徒歩約15分